

【アーケードゲーム基板向け映像出力分配ボード： とくたん4号】

ゲーム基板と筐体からのJAMMAハーネスとの間に本機を接続する事で搭載されているミニD-sub15Pコネクタ (VGAコネクタ) および3.5mmミニピンジャックよりゲーム基板の映像と音声をスキャンコンバータ等の外部映像機器へ容易に取り出す事が可能となります。

CN1: 分配映像出力 アナログRGB (ミニD-sub15P)

CN1から出力される映像同期信号は搭載されているSYNCセパレータICにより補正された信号が出力可能です。2種類の性能のSYNCセパレータIC切替と4種類の同期信号出力のモード選択ができますので相性によりそのままでは映像同期が取りづらいゲーム基板もいずれかのモードで同期が取れる可能性が高まります。※すべてのゲーム基板の相性が改善される訳ではありません。また、出力解像度のアップスキャン等の機能はありません。入力そのままの解像度となります。

CN2: 分配音声ライン出力 (3.5mmミニピンジャック)

CN2より出力される音声信号はゲーム基板のスピーカー出力を本機搭載のトランスを通じてラインレベル付近へ落としていきますので外部接続機器への過大入力を抑えます。※使用する筐体側に搭載されているスピーカーのインピーダンスは8オーム推奨 (4オームまで) スピーカーの並列接続によりインピーダンスが下がる場合はゲーム基板側のアンプICに過大な負荷が掛かり故障の原因になりますのでご注意ください。

CN3: 外部HV-SYNC入力 (JST NH6P)

1	RED
2	GREEN
3	BLUE
4	H-SYNC入力
5	V-SYNC入力
6	GND

非JAMMA基板などで使われる分離同期信号入力用。CN3を使用する際は基板側JAMMAコネクタへは映像信号を接続しないで下さい。※JP3をショートで合成したC-SYNCがJAMMAコネクタへ出力されます。

SW1: 同期信号入力切替

	1	2	セパレータ切替
OFF	OFF		EL1883
ON	OFF		LMH1980
X	ON		外部HV-SYNC

使用するセパレータICを選択します。CN3を利用する場合は2番ONで有効になります

CN4: 超連射ボタン接続コネクタ (JST PHR8P)

1	+5V出力
2	GND
3	C-SYNC出力
4	1Pボタン1
5	1Pボタン2
6	1Pボタン3
7	1Pボタン4
8	1Pボタン5

ひげねこ堂で展開しているシンクロ連射装置の接続用です。

SW2: 分配同期信号出力切替

1	ゲーム基板からのC-SYNCスルー出力
2	XOR生成したC-SYNC
3	セパレータICが生成したC-SYNC
4	セパレータICが生成したHV-SYNC

CN1から出力する同期信号を選択します

VR1: LMH1980用調整ボリューム (設定値300オーム)

搭載されているSYNCセパレータICの同期入力レベル調整用です。通常は調整不要です。※VR1を回して設定値が不明になった場合にはVR1シールとGNDシルクのスルーホールにテスターを当てて300オームに合わせてください。

VR2: EL1883用調整ボリューム (設定値715Kオーム)

搭載されているSYNCセパレータICの同期検出範囲調整用です。外部映像機器にFマイスターを使用した際にF3基板の映像表示が流れないレベルに設定してあります。接続しているゲーム基板によって同期が乱れる場合、このボリュームを調整する事で同期が合う可能性はありますが大きな効果は期待できないと思われます。(本来の標準値は681Kオーム) ※VR2を回して設定値が不明になった場合にはRSETシルクとGNDシルクのスルーホールにテスターを当てて715Kオームに合わせてください。

VR3: 分配映像明るさ調整

CN1から出力される映像の明るさ調整です

VR4: 分配音量調整

CN2から出力される音声の音量調整です。

【お問い合わせ】

いろいろや ひげねこ堂
<http://www.higenekodo.jp>

※免責事項

本機の使用によって生じた故障・損害等においては、当方では責任を負いません。基本機能の動作確認は行っておりますが、個別の動作環境での動作保証は致しかねますのでご自身の使用環境に照らし合わせ、自己のご判断によりお使いください。